

# ローズライフ

Rose Life Vol.16  
夏 2013

## 手仕事で紡ぎ続ける麻織物。

かつては僧侶の法衣や武士の袴に使用されていた麻織物、奈良晒。  
 移り変わる時代の中で、幾多の変遷をたどり  
 現在では、身近な日用品に姿を変えて人気を集めています。  
 素朴な手紡ぎ、手織りの麻の魅力を知るために、300年近い歴史をもつ  
 奈良晒の老舗「中川政七商店」を訪ねました。

ローズライフ  
 インタビュー

山岸範子さん

85歳  
 (昭和3年生まれ)  
 平成24年4月入居

一緒に旅する友人もできて、  
 毎日が「はなまる」です。



以前は神奈川県茅ヶ崎に住んでいました。主人を亡くして一年ほど一人暮らしでしたが、何かあったときのことを考えて、城陽市に住む息子の近くに引っ越すことにしました。結婚後に関西で十五年以上暮らししましたし、戦争末期の娘時代は神戸の薬学専門学校で寮生活。なじみのある土地だったので、すんなり決断できました。



生まれは大連です。その後、一時上海に移り、また大連。それから神戸、小樽、京都、大阪、東京、茅ヶ崎、そして今また京都でしょ。私って流浪の民なの(笑い)。旅が好きなのもそのせいかしらね。主人が元気な頃は、年に一、二回海外旅行に行くのが楽しみでした。時刻表やガイドブックをみながら自分で計画するプライベート旅行が

大好き。よく言えば行動的ですが、おてんばで向こう見ずなの(笑い)。今の楽しみはね、ここに来てからはじめてビリヤード。好奇心が旺盛で何でもやってみたいのね。刺しゅうや鎌倉彫などの手芸もしましたし、英会話も習っていたんですよ。いまでもお友達から英語でメールが届くので、それに英語で返事を書くのも楽しみです。  
 新しい環境に飛び込むときは人間関係が不安でしょ。でもここは、スタッフも入居者さんも優しいから、生活は予想以上に快適、「はなまる」です。  
 (ローズライフ高の原 ダイニングにて)

発行 京阪ライフサポート株式会社 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町14番10号 京阪くずは駅ビル南館3F 電話072-8680331



ホーム見学会  
 申込受付中!

介護付有料老人ホーム

ローズライフくずは

ケアを必要とされる方に...

ホーム見学会 7/21⑨ 8/4⑨ 17⑨ 12:30-

☎0120-877-602 大阪府枚方市 楠葉朝日1丁目2番5号

住宅型有料老人ホーム

ローズライフ高の原

自立した生活をお過ごしの方に...

ホーム見学会 7/21⑨ 8/3⑨ 17⑨ 11:00-

☎0120-716-602 京都府木津川市 相楽台9丁目1番地5



# 麻の最上は南都なり。

織物の晒には、木綿や麻素材のものもありますが、奈良晒は奈良を中心に生産された麻織物です。「晒し」というのは、本来、織り上げた布を漂白することを言うのですが、いつの間にか織物自体を指すようになりました。かつての奈良はこの晒しの技術が非常に高く、「麻の最上は南都なり」といわれるほどでした。奈良晒が文献に登場するのは天正年間（二五七三〜九一年）です。その後、



奈良晒の織り機

江戸時代に幕府の御用品とされたことで発展し、中川政七商店の初代・中屋喜兵衛が奈良晒を商い始めたのも、享保のはじめ、一七一六年のことです。



## 身を捧げて向き合う織物「奈良晒」

織物はどうしても機械に目がいきがちですが、ほんとうは糸を紡ぐことが最も重要で、しかも難しい作業なんです。原料となる大麻、麻芋を削いでしなやかにし、細く細く裂いて糸のようにします。それに縀りをかけて経糸をつくり、同時にへそ巻きという作業で緯糸を仕上げ、織り機にかけてようやく機械が始まります。

実は内緒でお金をためる「ヘソクリ」という言葉は、ヘソと呼ばれる糸巻きに麻糸を幾重にも巻くことに由来しているんですよ。ヘソに糸を巻いて仕事をすればお金が入りますものね。



中川政七茶房 チーフ 福島明子さん

糸づくりに約一ヶ月、織りに約十日かけて、一疋（二十四m）の布ができあがります。麻は硬くて強い繊維なので、それをしなやかにするのはとても大変な作業です。絹を触っているとその成分で手がツルツルしてきれいになるといわれますが、麻はほとんど手の水分を奪っていくので、身を捧げるようにして向き合わないといけないともいわれます。

こうして織りあがった布は生平と違って、生成りです。すから、これを晒して白い布にするわけです。

風呂上がりの汗取りや産着を開発し、汗取りは皇室御用達にもなりました。移り変わる時代の中で、中川政七商店は奈良晒の伝統を守り、あえて機械化の道を選ばず、昔ながらの手紡ぎ、手織りの布を扱ってきました。奈良の猿沢池の近くにある遊中川本店は、築百二十年の店舗をリニューアルし、茶房や機械体験ができる機場も併設しています。ふきんやタオル、スカートなど身近なアイテムを取り揃えていますので、ぜひ一度お立ち寄りください。使い続けるほどに風合いが増す、手作りならではの良さを感じていただけるとうれしいですね。



遊 中川 本店（中川政七商店） 奈良市元林院町31-1 TEL.0742-22-1322

# いきいきコラム

16

暮らしの点検

## 間接照明を上手に使って心地良く、安全な「明るさ」を確保しましょう。

前回から、暮らしの点検というテーマで、「明るさ」「段差」「温度差」という三つの「さ」についてご紹介しています。今回は「明るさ」についてのお話です。

高齢者の場合、視覚の変化により二十歳の人に比べて二〜三倍の明るさが必要と言われますが、単に室内全体を明るくすれば良いというわけではありません。白内障などが進行すると、眩しさにはむしろ敏感になります。主照明一つで必要な明るさを求めると、どうしても眩しくなりがちなので、手元や足元のポイント照明を上手に使うことが大切です。

特に気をつけたいのは、夜中にトイレなどで



京阪ライフサポート株式会社  
ローズライフ事業部 眞藤英恵  
ケア事業部 次長 眞藤英恵  
理学療法士。病院、在宅訪問で高齢者ケアと健康増進に携わり、2003年入社。現在に至る。

目覚めた際の明るさです。いきなり寝室や廊下、洗面室の照明をつけると、眩しさでふらついてしまったり、明るい光を浴びたことが刺激になって寝つけなくなる場合があります。ベッドの足元や入り口、廊下にはセンサーで自動点灯するフットライトをつけたり、調光できる照明にしておくといいですね。また、事故の多い階段も明るさが大きく変化しすぎないように注意し、常夜灯やセンサー式間接照明を複数利用することをお勧めします。

## 京のお菓子歳時記「夏」

涼を呼ぶ、鴨の水面を干菓자에写して。

### 「鴨の流れ」琥珀

寒天と砂糖・水あめを加え煮詰めると、「琥珀」と呼ばれる宝石のような干菓子が出来上がります。表面はシャリシャリ、中はしっとりとした食感が楽しいお菓子です。透感のある琥珀の中に柚子の皮を浮かべ、水面に煌めく光を表現しました。暑い夏の、鴨川の流れと涼しげな琥珀に涼を求めてみませんか。（文 十代目女将）



創業享保元年 京菓子司 笹屋伊織  
本店 京都市下京区七条大宮西入 TEL.075-371-3333

## くずは お店探索 ジャズの流れる店内で、おしゃべりに楽しむ。 こだわりの焼肉 家族亭

くずはに店を構えて三十五年。味にシビアなお客様を唸らせてきた「家族亭」は、著名なグルメ雑誌にも取り上げられる有名店。厳選された肉は、やわらかく、肉本来の甘みと旨味が凝縮。器や盛り付けにもこだわり、タレもお肉にあわせて種類豊富に登場します。バラ、ロース、タンといった定番から、ホルモン、キムチ、ご飯ものまで、隙なし！のおいしさです。



〒573-1116 枚方市船橋本町2丁目32-5  
TEL.072-850-6661 営業時間：16:30～22:00(ラストオーダー)  
定休日：毎週木曜日(祝日の場合は、翌日に振替)

